

人権啓発センター だより

平成27年7月

No.19

(公財) 高知県人権啓発センター



「町内会活動」

この4月から町内会の事務局をしています。

町内会は16班体制で、班長を決め、会長、副会長のもと日常的な活動をしています。今年は、2年間の役員の改選期に当たりますが、新たにやっていただく方が見つからず、各役員さんに再任をお願いし、昨年1年間、班長を務めた縁で欠員であった事務局を務めることとなりました。40年余り務めておられる会長によると、住民の方の高齢化が進み、一人暮らしのため、班長をお願いできないお宅もでてきているとのこと。そういう中で、総会では、「避難訓練はしないのか？」等の声もあがるなど、南海地震対策のみならず地域の防災力の向上のためにも、町内会の役割は重要となってきています。

定年後の社会参加として町内会や自治会の活動に参加を勧める新聞記事を見ましたが、それに加え、若い元気なパワーの参加も大いに望まれるところです。

町内会の活動内容が十分わからないなどの心配もあるかもしれませんが、まずは地区の運動会や清掃活動などできることから参加してみませんか。

(企画啓発課 池本)



人権あれこれ

～ネパールの大地震～

地震のあったちょうど1年前の4月にネパールを旅行したことがある。首都カトマンズの人口密度は東京の約2.3倍。木造やレンガ、石造りの建物が密集していたことを覚えている。慢性的な電力不足でホテルでも毎日停電の時間帯があった。

地震の被害は死者8,700人を超え、全半壊した建物数は77万戸以上。日本の専門家の調査によると、震度6弱から5弱程度。ただ、長周期地震動で40秒間揺れたそうである。

1年前ネパールの農村地帯を歩いていたら、道路の拡張工事に出くわしたが、重機はほとんど見当たらなかった。支援の手も届かない地域も多いと聞く。9月まで続く雨期に入り、今後、インフラ再建にはまだまだ時間

を要すると思われる。災害とくらし、災害と人権、その影響は人々に長く深く及ぼすことになるだろう。

(研修講師 川崎)



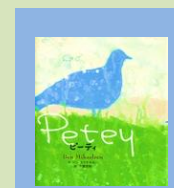
倒壊前の世界遺産ダラハラ塔
(カトマンズにて、2014.4.25撮影)

じんけんライブラリー

一押し本

「ピーティ」

作／ベン・マイケルセン 訳／千葉茂樹 鈴木出版 (1,500円＋税)



生まれながらに脳性まひがあったため、周囲から知的障害と誤解され、人生のほとんどを施設で過ごすことになってしまったピーティ。

過酷な生活の中でも、豊かな心を失わず、ひとつひとつの出会い、目にするもの、耳にするものに、喜びと驚きを味わい、自分の人生を生ききったピーティの光あふれる物語。

友情、家族、障害、医療、常識の中の偏見、ささやかなことの中の大きな発見、そして、共に生きる素晴らしさが、読者に心を揺さぶる感動を与えてくれるでしょう。

(企画啓発課 松本)

【平成26年度に作成した啓発パネルを紹介します】

【断固拒否えせ同和行爲】

タイトル： 断固拒否えせ同和行爲
テーマ： 同和問題
規格： W520×H730
枚数： 10枚

【高知県人権施策基本方針】

タイトル： 高知県人権施策基本方針
テーマ： 人権全般
規格： W520×H730
枚数： 8枚

【災害と人権】

タイトル： 災害と人権
テーマ： 災害と人権
規格： W520×H730
枚数： 8枚

【犯罪被害者等の人権】

タイトル： 犯罪被害者等の人権
テーマ： 犯罪被害者等
規格： W520×H730
枚数： 8枚



◎無料で貸し出しも行っておりますので、ぜひご利用ください。



事業報告

ピックアップ

平成27年度人権啓発研修ヒューマンパワー育成講座 (管理職等研修)を開催しました

「良くわかる“CSR”(企業の社会的責任)と人権・労働」をテーマとした管理職等を対象とした講座を、6月25日(木)に香美市のプラザ八王子で開催しました。

駿河台大学教授の水尾順一さんによる基調講演では、CSRは特別なことではないこと、社員を働きやすくするために上司・経営者が考えて行動する「サーバント・リーダーシップ」などについて、わかりやすくお話ししていただきました。

高知市の不動産会社(株)ファースト・コラボレーション代表取締役社長、武樋泰臣さんによる事例発表では、社員とその家族などを幸せにする経営を実践するなかで、育児休暇後の復帰率は100%であることなど、働きやすい環境を整備することで社員の活力を生み出している取り組みが紹介されました。

また本年度は、香美市企業等人権啓発連絡会、香南市企業等人権問題連絡協議会との共催で開講し、今後につながる連携を得ることができました。



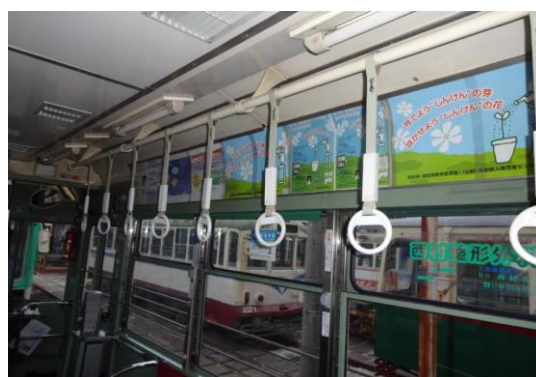
ピックアップ

電車・バス等到人権啓発ポスターを展示しています

より多くの方到人権問題の理解と関心を深めていただけるよう、人権啓発に関するポスター等を展示しています。ご乗車の際はぜひご覧ください。

- 人権啓発に関するポスター等
とさでん電車1車両ポスタージャック
・とさでん交通
平成27年6月10日～12月10日

- 人権啓発ポスター
車内広告
・JR四国
平成27年7月1日～平成28年3月31日
・土佐くろしお鉄道
平成27年6月14日～平成28年3月13日



- 第42回「部落差別をなくする運動」強調週間啓発事業
車内広告
・とさでんバス運転後部座席広告
平成27年6月20日～7月20日

- 駅貼り広告
・土佐くろしお鉄道(県下主要7駅)
平成27年7月2日～7月15日





Information お知らせ

事業・イベント紹介

第42回 「部落差別をなくする運動」 強調旬間啓発事業

7月10日～20日は「部落差別をなくする運動」強調旬間です。

県民の皆様の同和問題に対する理解と認識を深めていただくために次の催しを行います。

- 日 時：平成27年7月15日（水）13:00～16:00
- 会 場：県民文化ホール（オレンジ）
- 映 画：「ある精肉店のはなし」
- 講 演：「いのちを食べて いのちは生きる」
講師 縺縺（はなぶさ） あや（映画監督）
- 参 加 費：無料 ※手話通訳・要約筆記・託児あり



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
- ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
- パネル
1人3セット以内で、期間は1カ月以内です。
※ 直接来所できない場合は送付もいたします。
(送料は利用者のご負担となります)



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名（机を使用する場合は180名）
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>